

2017年6月27日

スズキの「日本式ものづくり学校（JIM）」が 経済産業省より認定



スズキ株式会社がインド・グジャラート州メーサナ地区に開校を進めている職業訓練校「マルチ・スズキJIM（ガンパット ヴィディアナガール、メーサナ）」は、本日、経済産業省より「日本式ものづくり学校」の第1号として認定を受けた。

インド製造業の人材育成支援を目的とした日本式ものづくり学校（JIM:Japan-India Institute for Manufacturing）は、2016年11月11日に日印両政府によって合意された「ものづくり技能移転推進プログラム」の一環として実施するもので、「マルチ・スズキJIM」は2017年8月の開校を予定している。

「マルチ・スズキJIM」はインドの職業訓練学校（ITI:Industrial Training Institute）としてマルチ・スズキ社が最新の教育設備や人材を投入して運営する。自動車整備、ディーゼルエンジン整備、板金修理、塗装修理、溶接など8つのコースで実践的な訓練を行い、毎年約400名の卒業生を輩出する計画である。

本日、高木陽介経済産業副大臣、スジャン・R・チノイ駐日インド大使をはじめ、同プログラム関係者、認定企業出席のもと経済産業省にて認定式が執り行われ、鈴木会長は認定企業代表として挨拶し、「今回認定頂いた学校を通して、私どもはインドの人材育成に一層取り組んで参ります。」と述べた。